

ニュースレター第21号をお届けいたします。今号は樋野先生のお言葉と、スタッフの増田が担当します。

『継続の大切さ』～ 賢明な寛容性 ～

樋野興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長)



2024年9月28日 早稲田大学エクステンションセンター中野校での講座【がんと生きる哲学～医師との対話を通して『がん』と生きる方法を考える～テキスト:『新渡戸稲造:壁を破る言葉(三笠書房)樋野興夫著』の後、『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC』に向かった。私は、3組の個人面談の機会も与えられた。大変貴重な時となった。

【『心温まるおもてなし・賢明な寛容性』& あらゆる人々が立場を超えて集う『交流の場』& 『他人の苦痛に対する思いやり』】の学びの場でもある。

9月29日は、『東久留米がん哲学外来・カフェ』に赴いた。私は、2008年1月 順天堂大学の病院の診察室で『がん哲学外来』を始めた。その年(2008年)の秋に『東久留米がん哲学外来・カフェ』を 東久留米のインターナショナルスクール(CAJ)で開始する機会も与えられた。『継続の大切さ』を痛感する。

『東久留米がん哲学外来・カフェ』の後は、2007年から始めた【新渡戸稲造(1862-1933)著『武士道』、内村鑑三(1861-1930)著『代表的日本人』】の読書会である。今回の読書会の箇所は『代表的日本人』であった。【『読書は人間をつくるもの & 永遠の生命をもつ本を読め』】(新渡戸稲造)の復習である！

次回(10月27日)は、『東久留米がん哲学外来・カフェ』では、カルタ大会、読書会の後は、カラオケ大会が決定された。参加者の『力量・胆力・決断力』には、ただただ感服する。



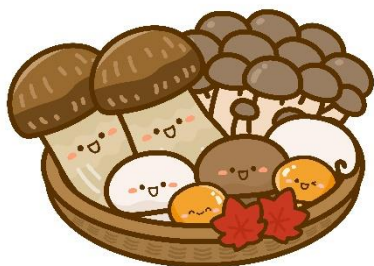
メディカルカフェに初めてお出でになり「メディカルカフェって、こんな感じなんですね。」とおっしゃる方がいます。どういう意味か伺うと「数人のグループに分かれ、話を聞いて貰う場と思わずに来た。」とのこと。講演会で話を聞く集まりとっていたとのこと。

お茶の水のメディカルカフェでは、7~8名のグループに分かれ『カフェ』の時間を持ちます。カフェの時間の前と終わってからの2回、樋野興夫先生の講話が持たれますが、やはり中心は、カフェだと思います。グループに別れての話し合いが1時間ほど持たれます。(お茶の水メディカルカフェでは、希望すれば樋野先生との個人面談も可能です。)

グループの中で、自分の悩みや思っていることを分かち合うことによって、悩みが解決することが出来なくても、話すことによって悩みに共感して貰ったり、他の人も同じような悩みがあることを聞かせて貰ったりすることが出来ます。

身近な人には相談や話しを聞いて貰いたくない場合があります。でもがん患者本人や患者の近親者と言う、同じ境遇の「他人の集まり」のカフェで、病気の辛さや心の痛みなどを話せる場、お茶の水メディカルカフェ in OCC が、ガンに苦しむ方々にもっと認知をされたらと期待しています。

お茶の水メディカル・カフェ in OCC スタッフ 増田 謙



<がん哲学外来>  
お茶の水メディカル・カフェ in OCC

~2024年開催予定日~

第32回	6月15日(土)
第33回	7月20日(土)
第34回	8月17日(土)
第35回	9月28日(土)
第36回	10月19日(土)
第37回	11月9日(土)
第38回	12月14日(土)

いずれも13時から開始です。

会場：お茶の水クリスチャン・センター

主催：お茶の水メディカル・カフェ 共催：お茶の水クリスチャン・センター  
後援：一般社団法人がん哲学外来 がん哲学外来市民学会

樋野 興夫 先生  
順天堂大学名誉教授  
一般社団法人がん哲学外来名誉理事長  
新渡戸稲造記念センター長  
恵泉女学院理事長

樋野興夫先生との面談について  
お茶の水メディカル・カフェ in OCCでは  
毎回樋野先生が出席されますので、面談が可  
能です。ご参加申し込みの際に、面談希望を  
お伝えください。

<参加費無料・必ず事前にお申し込みください>  
お申込み方法：mailもしくはFAXでお申し込みください。  
Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com  
Fax: 03-3296-1010  
\*お申込み時に必ずお名前と当日に連絡のつく  
お電話番号をお知らせください。  
\*各回とも開催日の3週間前からお申し込みを付けておきます